

令和4年度

雄武町教育委員会の活動状況に関する

点検・評価報告書

令和5年3月

雄武町教育委員会

はじめに

今日、経済・社会構造の変化や少子・高齢化の進展など、教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、教育委員会においては、責任体制の明確化や体制の充実を図り、教育行政の中心的な担い手として、その役割を発揮していくことが求められています。

教育委員会の設置についての根拠法となる「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価を実施することが義務付けられており、平成20年度に施行され、今年度で15回目となります。

雄武町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、ここに令和4年度報告書を作成いたしました。

雄武町教育委員会としては、次年度以降につきましても、点検・評価の実施を通じて、施策の効果の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年3月

雄武町教育委員会

教育長 豊田 通敏

目 次

はじめに

第1章 教育委員会の活動状況

1	教育委員会の会議の開催状況	1
2	条例・規則等の制定改廃状況	4
(1)	教育関係条例	4
(2)	教育関係規則	4
(3)	教育関係規程	4
(4)	教育関係要綱	4
3	教育委員会委員の活動状況	5
4	審議会等審議概況	7
5	令和3年度予算の状況	8
(1)	教育費の予算	8
(2)	政策予算の内容	8
6	教育関係者の表彰等	12
(1)	雄武町教育功績者表彰	12

第2章 教育委員会の事務事業評価

1	令和3年度実施事業の評価結果	13
(1)	評価対象となる事務事業	13
(2)	事務事業評価結果	13
(3)	事務事業評価結果一覧表	14

資 料

- ・令和3年度実施事業分の事務事業評価調書

第1章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の会議の開催状況

雄武町教育委員会の会議は原則として公開で、概ね月1回開催しています。

この会議において、教育長及び4名の教育委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議します。

期 日	場 所	付 議 案 件 等
3. 4. 21 【臨時会】	雄武町民 センター 会 議 室	(協議) 成人式について
3. 4. 30	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 語学指導等を行う外国青年就業規則の一部改正について 雄武町コミュニティ・スクール協議会委員の委嘱について 雄武町教育支援委員会委員の任命について 雄武町特別支援教育連携協議会委員の委嘱について 雄武町社会教育委員の委嘱について 雄武町スポーツ推進委員の委嘱について 雄武町図書館協議会委員の委嘱について 雄武町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について (協議) 令和3年度小中学校運動会の開催について (承認) 令和3年度教育費補正予算(第1号)について 令和3年度教育費補正予算(第2号)について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 6. 4	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度教育費補正予算(第3号)について 令和3年度教科書展示会について 雄武町社会教育委員の委嘱について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 7. 5	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 雄武町教育委員会職務代理者の事務の委任に関する規則の制定について 雄武町教育委員会公印規則の一部改正について 令和3年度準要保護児童生徒の認定について 雄武町社会教育委員の委嘱について 雄武町図書館協議会委員の委嘱について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 8. 5	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度児童の在籍すべき学級について 雄武町スポーツ推進審議会委員の任命について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について

3. 8. 30	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度教育費補正予算(第5号)について 第9地区教科書用図書採択について (協議) 令和3年度小中学校学芸会・学校祭の開催について (承認) 令和3年度教育費補正予算(第4号)について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 9. 30	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度雄武町スポーツ賞表彰について 令和3年度生徒の在籍すべき学級について (協議) 令和3年度全国学力・学習状況調査結果の公表について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 10. 28	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度生徒の在籍すべき学級について 令和3年度準要保護児童生徒の認定について (承認) 令和3年度教育費補正予算(第6号)について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 11. 26	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 学校職員に係る処分の内申について (協議) 令和3年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果の公表について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 12. 22	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和4年度児童・生徒の就学すべき学級について 雄武高等学校卒業生奨学金等条例施行規則の一部改正について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
4. 1. 31	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度教育費補正予算(第7号)について 令和4年度教育費予算要求について 令和3年度準要保護児童生徒(新入学児童生徒分)の認定について 感謝状の贈呈について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
4. 2. 28	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度教育費補正予算(第8号)について 令和4年度教育行政執行方針について 雄武町立学校長の免職及び採用内申について 感謝状の贈呈について (協議) 小・中・高の卒業式・入学式について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について

4. 3. 30	雄武町民 センター 会議室	<p>(議案)</p> <p>令和3年度準要保護児童生徒の認定について 雄武町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について 雄武町立小中学校通学区規則の一部改正について 雄武町立学校開放に関する実施細則の一部改正について</p> <p>(報告)</p> <p>教育行政報告について 教育行政執行状況報告について</p>
----------	---------------------	---

2 条例・規則等の制定改廃状況

令和3年度に制定改廃された教育関係条例の数は1件、教育関係規則の数は7件、教育関係規程の数は1件、教育関係要綱の数は2件、教育関係要領の数は0件です。

なお、関係事項については次のとおりです。

(1) 教育関係条例

番号	題名	公布年月日	施行年月日
(3年) 3	雄武町立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例	3.3.23	4.4.1

(2) 教育関係規則

番号	題名	公布年月日	施行年月日
(3年) 1	語学指導等を行う外国青年就業規則の一部を改正する規則	3.4.30	3.4.30
2	雄武町教育委員会教育長職務代理者の事務の委任に関する規則	3.7.5	3.7.5
3	雄武町教育委員会公印規則の一部を改正する規則	3.7.5	3.7.5
4	雄武高等学校卒業生奨学金等条例施行規則の一部を改正する規則	3.10.24	3.10.24
(4年) 1	雄武町立学校開放に関する実施細則の一部を改正する規則	4.3.31	4.4.1
2	雄武町立小中学校通学区区域規則の一部を改正する規則	4.3.31	4.4.1
3	雄武町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則	4.3.31	4.4.1

(3) 教育関係規程

番号	題名	公布年月日	施行年月日
(4年) 1	雄武町教育委員会処務規程の一部を改正する規程	4.3.31	4.4.1

(4) 教育関係要綱

番号	題名	公布年月日	施行年月日
(4年) 1	雄武高等学校卒業生新生活応援給付金支給要綱	4.2.18	4.2.18
2	雄武町特別支援教育連携協議会設置要綱の一部を改正する要綱	4.3.10	4.3.10

3 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会議のほか、教育委員会や学校の諸行事等へ出席するなど、教育行政の運営について幅広い活動をしています。

日 付	活 動 内 容	委 員 名
(3年)		
4月 2日 (木)	教職員辞令交付式	教育長、栗山、 今、加賀
4月 6日 (火)	雄武小学校入学式	教育長
	共栄小学校入学式	栗山
	沢木小学校入学式	加賀
	雄武中学校入学式	教育長
4月 8日 (木)	雄武高等学校入学式	教育長
5月10日 (月)	子ども育成会 あいさつ運動	教育長、今、加 賀、河島
5月11日 (火)	子ども育成会 あいさつ運動	教育長、加賀、 河島
6月27日 (日)	豊丘小学校運動会	今
7月 5日 (月)	学校づくり意見交換会	栗山、今、加 賀、河島
7月19日 (月)	雄武中学校運動会	栗山
7月21日 (水)	共栄小学校運動会	
9月14日 (火) 16日 (木)	雄武小学校運動会	
10月 2日 (土)	共栄小学校学芸会	
10月 3日 (日)	豊丘小学校学芸会	教育長、今
10月 9日 (土)	雄武小学校学芸会	

10月17日(日)	沢木小学校学芸会	教育長
10月22日(金)	子ども育成会 あいさつ運動	教育長、河島
10月23日(土)	雄武中学校学校祭	
11月26日(金)	教育委員学校訪問(雄武小、共栄小、沢木小)	全員
11月28日(日)	令和3年成人式	全員
11月29日(月)	教育委員学校訪問(雄武中、豊丘小)	教育長、栗山、河島
(4年) 1月9日(日)	令和4年成人式	教育長、今、加賀、河島
1月31日(月)	教育委員懇話会	全員
2月27日(日)	豊丘小学校閉校式	全員
3月1日(火)	雄武高等学校卒業式	教育長
3月15日(火)	雄武中学校卒業式	教育長
3月18日(金)	雄武小学校卒業式	栗山
3月24日(木)	豊丘小学校卒業式	教育長、栗山、今
	沢木小学校卒業式	加賀
	共栄小学校卒業式	河島

4 審議会等審議概況

雄武町教育委員会に設置している主な審議機関は、次のとおりです。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティ・スクール協議会については全体審議を行わず各学校部会の開催のみとなりました。また、その他の委員会についても一部報告案件などは会議を開催せず書面報告としたものもありました。

名 称	委員数	会 議 開催数	審 議 事 項		
			件 数	諮問・決議等	
				種別	年月日
教育支援委員会	9	4	・令和3年度児童の在籍すべき学級について（変更）	諮問	3.8.3
				答申	3.8.3
			・令和3年度生徒の在籍すべき学級について（転入）	諮問	3.9.30
				答申	3.9.30
			・令和3年度生徒の在籍すべき学級について（変更）	諮問	3.10.27
				答申	3.10.27
			・令和4年度新入学児童及び在籍児童生徒の就学すべき学級について	諮問	3.12.3
				答申	3.12.3
コミュニティ・スクール協議会	22	0	各学校部会において学校の運営方針、学校評価等について協議を実施（各校2回開催）		
社会教育委員の会議	12	3	・令和3年度町民大学について 他2件	審議	3.10.15
			・令和3年度社会教育事業について 他3件	審議	3.12.22
			・令和4年度社会教育事業について 他2件	審議	4.3.29
スポーツ推進審議会	5	1	・令和3年度スポーツ賞について 他2件	審議	3.9.21
スポーツ推進委員会	5	1	・令和2年度社会体育施設の状況について 他3件	審議	3.7.1
			・令和3年度社会体育事業について 他2件	審議	3.10.4
			・令和3年度社会体育事業について 他2件	審議	4.3.16
図書館協議会	5	1	・令和3年度図書館まつりについて 他2件	審議	3.8.17
			・令和3年度図書館事業について 他2件（書面報告）	報告	4.3.23
学校給食センター運営委員会	9	0	・令和2年度第3学期末学校給食運営状況報告について 他1件（書面報告）	報告	3.6.8
			・令和3年度第2学期末学校給食運営状況報告について 他2件（書面報告）	報告	4.3.2

5 令和3年度予算の状況

(1) 教育費の予算

令和3年度の教育費についての最終予算は487,835千円で、雄武町一般会計予算の最終予算総額の7,060,572千円に占める割合は、6.9%となっています。また、教育費の予算総額のうち、経常予算額は156,658千円でその割合は32.1%、政策予算額は331,177千円でその割合は67.9%となっています。

(2) 政策予算の内容

政策予算における費目ごとの事業内訳は、次のとおりとなっています。

【総務管理費】

(決算値ベース)

○教育相談員配置事業	4,501千円
○教育施設等管理委託業務	35,205千円
○語学指導を行う外国青年誘致事業	10,052千円
○雄武高等学校存続対策事業	16,377千円
○教職員用パソコン購入(更新)事業	480千円
○コミュニティ・スクール推進事業	84千円
○車両運行業務民間委託事業	33,995千円
○豊丘小学校閉校事業	1,300千円
○移住促進対策事業	2,816千円
○教育情報セキュリティポリシー策定事業	2,200千円

【小学校管理費】

○小学校教育備品整備事業	2,870千円
○雄武町学校教育振興推進協議会補助事業	1,200千円
○要保護・準要保護児童援助事業	1,670千円
○山村留学推進事業	500千円
○言語治療児童援助事業	339千円
○学校環境整備事業	28,196千円
○教職員住宅環境整備事業	26,852千円
○小学校感染症対策事業	2,775千円
○小学校感染症対策事業(繰越明許分)	3,280千円

【小学校教育振興費】

○小学校教育備品整備事業	2,050 千円
○学校図書整備事業	1,496 千円
○教職員教育振興事業	295 千円
○小学校教師用指導書購入事業	200 千円
○小学校児童検定チャレンジ促進事業	270 千円
○児童生徒用コンピューター整備（更新）事業	1,046 千円

【中学校管理費】

○中学校教育備品整備事業	390 千円
○要保護・準要保護生徒援助事業	1,854 千円
○学校環境整備事業	5,709 千円
○中学校感染症対策事業	925 千円
○中学校感染症対策事業（繰越明許分）	820 千円
○スクールバス更新事業	23,931 千円

【中学校教育振興費】

○中学校教育備品整備事業	1,504 千円
○学校図書整備事業	632 千円
○生徒教育振興事業	1,817 千円
○教職員教育振興事業	110 千円
○中学校生徒検定チャレンジ促進事業	250 千円
○中学校教師用指導書購入事業	218 千円
○児童生徒用コンピューター整備（更新）事業	275 千円

【社会教育総務費】

○武雄市児童交流事業	2,096 千円
○芸術文化公演事業	1,000 千円
○陶芸推進事業	1,138 千円
○生涯学習推進事業	100 千円
○社会教育関係団体活動費補助事業	650 千円
○家庭教育推進事業	204 千円
○学校支援活動推進事業	163 千円

【図書館費】

○読書促進事業	7,269 千円
---------	----------

【社会教育施設費】

- 町民センター施設整備事業 4,510 千円
- 町民センター施設整備事業（繰越明許分） 47,970 千円

【保健体育総務費】

- 社会体育団体活動費助成事業 540 千円
- 生涯スポーツ推進事業 120 千円
- 雄武町スポーツ振興事業 1,292 千円

【体育施設費】

- 社会体育施設委託業務事業 9,526 千円
- 体育施設整備事業 792 千円
- 体育施設整備事業（繰越明許分） 1,200 千円

【学校給食費】

- 学校給食センター調理業務委託事業 18,711 千円
- 学校給食食育推進事業 500 千円
- 学校給食子育て支援事業 13,790 千円
- 学校給食センター設備等更新事業 1,122 千円

(参 考)

教育費最終予算の内容 (項、目別予算)

(単位：千円)

項 及 び 目	予 算 額	項 及 び 目	予 算 額
1 教育総務費	118,481	4 社会教育費	87,171
1 教育委員会費	1,346	1 社会教育総務費	6,548
3 総務管理費	117,135	4 図書館費	18,718
2 小学校費	123,238	5 社会教育施設費	61,905
1 学校管理費	109,202	5 保健体育費	91,755
2 教育振興費	14,036	1 保健体育総務費	2,496
3 中学校費	67,190	2 体育施設費	22,192
1 学校管理費	55,472	4 学校給食費	67,067
2 教育振興費	11,718	予 算 額 計	487,835

6 教育関係者の表彰等

令和3年度の雄武町教育功績者表彰及び雄武町スポーツ賞の受賞者は、次のとおりです。

(1) 雄武町教育功績者表彰

(豊丘小学校閉校)

豊丘小学校閉校事業協賛会長 渡辺和基

雄武町立豊丘小学校長 小西政策

(転出学校長)

雄武町立豊丘小学校長 小西政策

雄武町立雄武中学校長 藤田哲也

(2) 雄武町スポーツ賞表彰

(スポーツ奨励賞)

【個人】北海道雄武高等学校 3年 高宮成生

北海道雄武高等学校 3年 高宮 魁

北海道雄武高等学校 3年 坂元拓斗

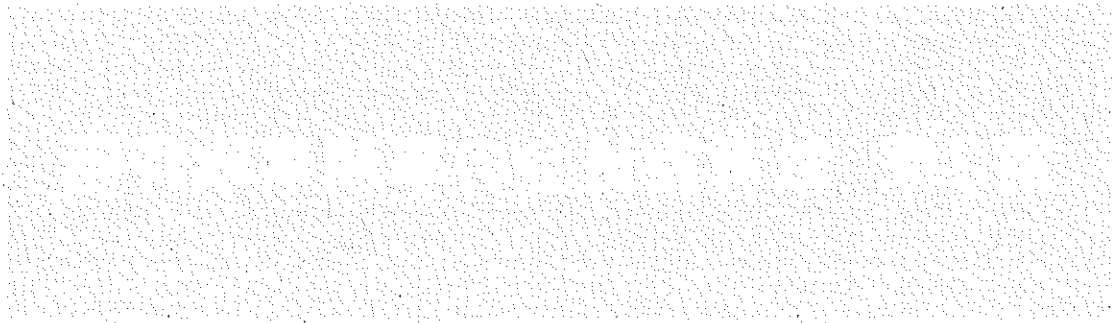
北海道雄武高等学校 2年 大水颯太

雄武町立雄武中学校 3年 大水皓生

【団体】北海道雄武高等学校 卓球部

北海道雄武高等学校 陸上競技部

第2章 教育委員会の事務事業評価



1 令和3年度実施事業の評価結果

(1) 評価対象となる事務事業

令和3年度に実施した事務事業の評価対象件数は、政策予算事業について46件が対象となり、所管分野別の内訳としては、教育総務関係27件、生涯教育関係14件、図書業務関係1件、学校給食関係が4件となっています。

(2) 事務事業評価結果

事務事業の評価方法は、まず所管課ごとの自己評価である一次評価を行い、次にその評価結果にもとづいて副町長をはじめとした庁内の評価会議委員の評価としての二次評価を行います。さらに、重要な政策事業については、三次評価として町長による評価を行って、計画（PLAN）→実施（DO）→評価（CHECK）→改善（ACTION）のサイクル化（PDCAサイクル）により進行管理を行います。

評価対象となった46件の事業についての評価結果は、三次評価対象件数は0件、二次評価対象件数は9件であり、その他の37件については一次評価のみとなっています。評価結果の概要は次のとおりで、事業ごとの評価状況は次頁以降の評価結果一覧表のとおりとなっています。

なお、評価の実施年度は事業を実施した翌年度に行うため、令和3年度事業の調書は、令和4年度事務事業評価調書として作成されます。

評価段階	評価区分	今後の展開方法	件数
一次評価 〔自己評価〕	A 計画どおり事業を進めることが適当	継続／現状維持 継続／拡充 終了	2 8 2
	B 事業の進め方等に改善が必要	継続／現状維持	5
	C 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要		
二次評価 〔評価会議による評価〕	A 計画どおり事業を進めることが適当	継続／現状維持 継続／内容の見直し・変更 継続／拡充 終了	1 1 2 1
	B 事業の進め方等に改善が必要	継続／内容の見直し・変更	2
	C 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要	継続／内容の見直し・変更	2

(3) 事務事業評価結果一覧表

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			上段: 総合評価 下段: 今後の展開方向		
1	教育施設等管理委託業務	民間委託のメリットを活かし、教育委員会所管施設(町内小中学校・町民センター・スポーツセンター・武道センター・テニスコート等)の管理業務を民間委託する。	A 継続/現状維持		
2	教育相談員配置事業	教育に関して専門的な知識を有する教育相談員を配置するとともに、家庭が抱える様々な課題や問題に対応した取り組みを展開する。	A 継続/現状維持		
3	学校環境整備事業	学校施設の経年からなる外壁や塗装の剥離を始めとする危険個所の把握や、施設の適正な維持について状況調査を行い、調査結果を踏まえて計画的に補修工事を行う。	A 継続/現状維持	A 継続/現状維持	
4	スクールバス更新事業	児童生徒が利用するスクールバスを安全に運行するため、老朽化した車両を更新する。	A 終了		
5	教職員住宅環境整備事業	教職員住宅を適切に維持管理するため、老朽箇所の整備、改修を行う。	A 継続/現状維持		
6	へき地小学校巡回事務職員配置事業	小規模校における教頭職の未配置等に伴う教職員の少人数化に伴い、学校経営に支障を来している状況にあることから、学校事務における教職員の多忙感を解消するため、事務職員を配置する。	A 継続/現状維持		
7	豊丘小学校閉校事業	令和3年度末に閉校する豊丘小学校の閉校式及び閉校事業協賛会への支援を行う。	A 終了		
8	雄武町文教地区基本構想策定事業	雄武町教育施設長寿命化計画に基づき、雄武小・中・スポーツ施設等が建設されている文教地区の教育施設について、現状や特性、町民ニーズ等を把握、整理の上、中長期的な視点で総合的に整備、改修を進めるための基本となる構想を策定する。	C 継続/内容の見直し・変更	C 継続/内容の見直し・変更	
9	雄武町教育情報セキュリティポリシー策定事業	GIGAスクール構想の実現に向け、学校における情報セキュリティ対策の考え方を明文化し、情報セキュリティに関する事故防止等に対応する体制を構築する。	A 終了		
10	雄武高等学校存続対策事業	地元高等学校の存続に向けた協議を行い、適宜状況に見合った取り組みを進めるほか、存続のため魅力ある学校づくりのため、各種助成を行う。	A 継続/現状維持		

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			上段:総合評価 下段:今後の展開方向		
11	車両運行業務民間委託事業	スクールバス4台、給食配送車1台、生涯教育バス1台の運行を民間に委託することにより、運行の円滑化を図る。	A 継続/現状維持		
12	言語治療児童援助事業	ことばの発達障がいを持つ児童の早期治療に向けた通級費用の一部助成により、保護者負担の軽減と地区唯一の西紋地区言語治療学級(ことばの教室)の運営・設備維持費の一部負担を行う。	A 継続/現状維持		
13	語学指導を行う外国青年招致事業	児童・生徒の国際理解力の向上並びに英語教育の内容充実に向け、外国語指導助手(ALT)2名を配置する。	A 継続/縮小	A 継続/内容の見直し・変更	
14	小中学校教師用指導書購入事業	教員の指導力向上による教育内容の充実を目的として、教員が使用する指導書を購入し小中学校に配備する。	A 継続/現状維持		
15	雄武町特別支援教育推進事業	学校教育法の特別支援教育の対応として、町内小中学校に在籍する、いわゆる「困り感」をもった児童生徒の学習活動をサポートするため、特別支援教育支援員を配置する。	A 継続/現状維持		
16	ふるさと教員配置事業	小中学校における多種多様な教育活動及び学校事情に応じた教育活動の円滑化を目的に、町独自で臨時教員1名を配置する。	A 継続/現状維持		
17	要保護・準要保護児童生徒援助事業	低所得者層の世帯に対して、児童生徒の教育の機会均等を図り、一定水準の義務教育を保障するため、就学援助費を支給する。	A 継続/現状維持		
18	児童生徒授業用コンピュータ整備(更新)事業	新学習指導要領に対応すべく、各校のICT環境を整備し、授業及び学校経営の安定化を図る。	A 継続/拡充	A 継続/拡充	
19	山村留学推進事業	へき地校の存続と教職員確保による教育内容の充実・発展・向上を目指すことを目的に、町内の山村留学制度実施校区に組織される地域協議会に対して、雄武町山村留学推進協議会を通じて運営費等の助成等活動の支援を行う。	A 継続/現状維持		
20	小中学校教育備品整備事業	教育水準向上に向けた義務教材等の整備及び校務推進上必要な管理備品について整備(更新)する。	A 継続/現状維持		

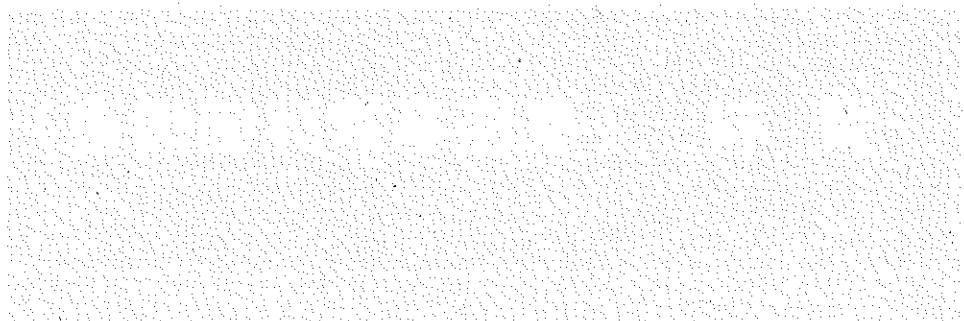
誘導等

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			上段:総合評価 下段:今後の展開方向		
21	生徒教育振興事業	中学校の部活動における中体連等の参加経費を負担する。	A 継続/現状維持		
22	学校図書整備事業	学校教育に欠かせない基礎的設備である学校図書館の図書について、教育課程において必要とされ、かつ時代にあった図書を計画的に配備し、児童・生徒の健全な教養を育成する。	A 継続/現状維持		
23	雄武町学校教育振興推進協議会補助事業	雄武町のすべての児童生徒の望ましい人格形成を目指し、町内の全教育機関が連携を図り、効率的かつ効果的な活動の展開により、雄武町の教育目標達成に向けて、学校教育の振興と教職員の資質向上を図ることを目的に設置する協議会に対して運営費を助成する。	A 継続/現状維持		
24	教職員教育振興事業	都市部と比較して研修機会の少ない町内の学校に勤務する教職員に研修機会を与えとともに、校内研修や公開研究事業を促進し教職員の資質向上を図ることを目的に、先進地視察や校内研修、公開研究に係る費用の一部について助成を行う。	A 継続/現状維持		
25	小中学校児童生徒検定チャレンジ促進事業	小中学生が受験する漢字検定試験及び英語検定試験の受験費用を助成し、児童生徒の語学力向上、学ぶ意欲の育成及び保護者負担の軽減を図る。	A 継続/現状維持		
26	小中学校感染症対策事業	徹底した新型コロナウイルス感染症対策を実施することにより、クラスターの発生防止、感染リスク低減を図る。	A 継続/現状維持		
27	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業	保護者や地域住民等が積極的に学校運営に参画することにより、地域と学校の連携の強化、協働による学校づくりの体制構築を図る。	B 継続/内容の見直し・変更	B 継続/内容の見直し・変更	
28	生涯学習推進事業	町民のライフステージやニーズに応じ、生涯にわたり学び・学習の活動を続けていくために、講座及び学習会等を開催する。	B 継続/現状維持	B 継続/現状維持	
29	武雄市児童交流事業	児童を武雄市に派遣すること及び武雄市児童を受け入れることによって、異なる地域の気候や生活、文化に対する理解と寛容を養うために地域間の交流を図る。	A 継続/現状維持		
30	家庭教育推進事業	休日の拡大に伴い、地域や家庭における教育の役割も増大しており、教育力の低下も叫ばれている中で、子育てをする上で最も大切な場である家庭での教育のあり方等、学習機会の支援を行う。	B 継続/現状維持		

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			上段:総合評価 下段:今後の展開方向		
31	社会教育関係団体活動費補助事業	社会教育を推進する中核的な組織(文化連盟・子ども育成会・PTA連合会)に対して補助を行い、地域の活性化を促進する。	A 継続/現状維持		
32	社会体育団体活動費助成事業	スポーツ少年団本部、単位スポーツ少年団、スポーツ協会及び加盟単位団体の活動を助長させるため補助金を交付する。	A 継続/現状維持		
33	雄武町スポーツ振興事業	各種スポーツの全国・全道大会へ出場する個人又は団体に対し、経費の一部を補助する。	A 継続/拡充		
34	生涯スポーツ推進事業	少子高齢化や人口減少に伴い、町民がスポーツを親しむ機会及びスポーツ人口が減少していることから、各種スポーツ大会やスポーツ教室などを複合的・横断的に開催し、スポーツ活動の活性化を図る。	B 継続/現状維持		
35	芸術文化公演事業	舞台芸術の機会に恵まれない本町において、児童・生徒等を対象に演劇や音楽などの鑑賞機会を支援し、生の芸術にふれる場をつくり、情操の涵養を図るとともに芸術への理解を深め、地域文化の活性化を図る。	B 継続/現状維持		
36	陶芸推進事業	地域に根付いてきた陶芸文化をより多くの町民がふれあうことが出来るよう、施設の管理体制を整え、維持管理を行うことで利用の拡大を図る。	B 継続/現状維持		
37	雄武町芸術文化振興事業	本町の文化・芸術活動の振興を図るため、発表会・大会に出場する個人・団体に対して必要経費の一部を助成する。	B 継続/現状維持		
38	学校支援活動推進事業	地域の教育力活用を通じて地域全体で学校教育を支援する体制を構築し、学校の教育力を向上させるとともに、学校支援ボランティア活動を通じた地域コミュニティの活性化を推進する。	A 継続/現状維持		
39	町民センター施設整備事業	利用者の安全性確保及び利便性の向上のため、老朽化部分の計画的な整備を行う。	A 継続/現状維持		
40	体育設備整備事業	スポーツ活動の拠点となる施設を良好な状態に維持することで、スポーツ活動の活性化を図る。	A 継続/拡充		

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			〔 上段:総合評価 下段:今後の展開方向 〕		
41	社会体育施設委託業務事業	施設の適正且つ効率的な維持管理を図り、利用者に対してより良いサービスの提供を図られる。	A 継続/現状維持		
42	読書促進事業	多様な学習目的と複雑かつ高度化する生涯学習ニーズ及び利用者の利便性の向上に対応するため、図書館蔵書の整備を行う。	A 継続/拡充	A 継続/拡充	
43	学校給食子育て支援事業	学校給食費費保護者負担金について助成を行うことにより、子育てに係る保護者の負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりを図る。	A 継続/現状維持		
44	学校給食調理業務委託事業	調理業務民間委託により衛生管理や調理作業の効率性が向上し、適正なコストで安全・安心な学校給食を提供する体制の構築を図る。	A 継続/現状維持		
45	学校給食食育推進事業	学校指導要領の特別課程に位置付けられている学校給食における、食育と地産地消の観点からの啓発の推進を図る。	A 継続/現状維持		
46	学校給食センター設備等更新事業	学校給食センターの設備・備品のうち、老朽化したものについて適宜更新を行う。	A 継続/現状維持		

資料（事務事業評価調書）



第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010090

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載		【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載	
政 策 目 標	3 達成感から学ぶ教育のまち・雄武	会 計 区 分	1 一般会計
基本施策	11 学校教育の充実	事業優先度	B
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)
事業名	教育施設等管理委託業務	見直し年度	
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当	12 教育委員会教育振興課
事業主体	雄武町	関係	#N/A
事業指標	教育施設等の適切な維持管理	関	#N/A
事業目標	委託対象全施設	ハート/ソフト事業区分	2 ソフト事業
町民参加	無	関係例規・法令名	無
町民協働	無	関係個別計画名	無
全 体 計 画 内 容		令和30年度	令和2年度
教育委員会所管施設の維持管理業務の委託		事業内容	事業内容
・小中学校全校 ・町民センター ・テニスコート ・スポーツセンター ・武道センター ・図書館		維持管理業務の委託	維持管理業務の委託
計 画 内 容		令和30年度	令和3年度
維持管理業務の委託		事業内容	事業内容
維持管理業務の委託		維持管理業務の委託	維持管理業務の委託
事業費(千円)		32,339	35,068
国庫支出金		0	0
道支支出金		0	0
地方債		0	0
その他		0	0
一般財源		167,445	35,068
事業費(千円)		133,401	35,204
国庫支出金		0	0
道支支出金		0	0
地方債		0	0
その他		0	0
一般財源		133,401	35,204
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)
【評価・実績】		(実施内容等)	(実施内容等)
教育委員会所管施設の維持管理業務の民間委託		教育委員会所管施設の維持管理業務の民間委託	教育委員会所管施設の維持管理業務の民間委託
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託対象全施設		97%	99%
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託対象全施設		38%	80%
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託対象全施設		100%	99%
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託対象全施設		59%	80%
※事務事業評価結果 委託対象全施設		97%	99%
※事務事業評価結果 委託対象全施設		19%	80%
第5期計画からの継続 (継続有り)		97%	99%
後期計画への継続 (継続有り)		19%	80%
年度目標値		97%	99%
年度達成率		19%	80%
全体達成率		97%	99%
備考欄		97%	80%

事業名	教育施設等管理委託業務	評価者	管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者	作成者 職氏名	川口 敦史
			教育振興課長	
			総務管理係長	

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)		各施設の適切な維持管理	
誰、何が(対象)	児童・生徒、地域住民	目標年度	令和3年度
抱える課題やニーズ	民間活力を活用した施設管理の維持	目標値	10施設
どのような状態になることを目指したのか(意図)	町民サービスの低下を招くことなく、民間活力を活用した施設管理の維持を図る。	実績値	10施設
その結果、どのような成果を 実現したか	学校環境整備による児童・生徒の学校生活の充実及び町民の文化・スポーツの振興並びに施設管理のコスト削減を図る。	達成度	100.0%
※成果＝目的		目標年度	令和3年度
	施設管理の民間委託	実績値	
内容(どのような手段で何を 行ったか)	専門性を必要とする業務が含まれることから、民間へ施設管理委託を行っており、教育委員会所管施設の効率的かつ適切な維持管 理が行われています。	達成度	

■総合評価(A~D)

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が著しくない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

民間委託により直営管理と同様の効率的な管理及び適切な維持管理が行われており、計画どおり事業が進んでいます。

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持

民間委託により、民間活力を活用した適切な施設管理が実施されているとともに、児童・生徒の学校生活の充実及び町民の文化・スポーツの振興が図られていることから、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。

※展開方向の区分
 ○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして受当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や原直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	継続的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由

効率的	<input type="checkbox"/>	民間活力を活用し、効率的かつ適正な維持管理が行われていると判断します。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

判断の理由

公平	<input type="checkbox"/>	町内全学校に公務補が配置されていること、地域住民が利用する施設の管理ということで公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

事業名	学校環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敦史
		教育振興課長	
		総務管理係長	

事業の目的・内容(Plan・Do)	学校関係施設	学校施設の適切な維持管理
誰、何が(対象)		
抱える課題やニーズ	安全で安心な教育環境を維持するため、老朽箇所の整備が必要である。	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	児童生徒が安心して学校生活を過ごすことができる環境を整備するとともに、施設の延命化を図る。	
その結果、どのような成果を表現したのか	児童・生徒、保護者及び学校関係者が安全で安心できる教育環境づくりを推進する。	
※成果＝目的		
内容(どのような手段で行ったか)	<p>学校要望調査の実施</p> <p>状況把握</p> <p>工事施工</p>	<p>各学校における修理等要望調査を実施し、実施箇所の決定を行っています。</p> <p>学校管理職、工事担当課との現状確認により、緊急性や必要性を考慮し、翌年度の工事施工箇所及び工法について確認しています。</p> <p>教育環境を維持するために各種工事を発注しています。</p>

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	必要工事の精査、費用積算についても効率性を重視しています。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>		
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>		

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	児童・生徒が等しく安全性の受益を享受することができているので、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>		
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>		

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等

B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等

D:事業効果が著れていない。事業の統合、休、廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
児童生徒が教育を受けるための環境づくりを通じて、保護者が安心して子どもを学校に通わせられる環境が整備されており、計画どおり事業が進んでいます。					
今後の展開方向(Action)					
継続/現状維持					
令和元年度に策定した教育施設長寿命化計画等に基つき、計画的に事業を進めることが必要であることから、随時事業内容を整理しながら環境整備を図ります。					

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

事業名	スクールバス更新事業	評価者	管理職 職氏名	中村 文隆
事業の目的・内容(Plan-Do)	児童、生徒	評価者	作成者 職氏名	川口 敦史
誰、何が(対象)	児童、生徒	教育振興課長	総務管理係長	

抱える課題やニーズ	児童生徒が利用するスクールバスについては、老朽化が進んでいるため、更新等の整備が必要である。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	スクールバス購入台数
どのような状態になることを目指したのか(意図)	児童生徒の登下校時、学校行事等の円滑な運用の推進を図る。	指標(指標計算式/解説)	① スクールバス購入台数
その結果、どのような成果を実現したのか	児童生徒、保護者及び学校関係者が安全で安心でできる教育環境づくりを推進する。	目標年度	令和3年度
※成果=目的		実績値	1台
		達成度	100.0 %
		目標年度	令和3年度
		実績値	
		達成度	
内容(どのような手段で何をを行ったか)	スクールバスの購入		
	走行予定地区の乗車予定人数を見極め、適正乗車人数のスクールバスを購入しています。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や原価しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	業務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	児童生徒が利用するスクールバスについては、経年により老朽化が進んでおり、更新が必要であると判断します。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

設定した目標値の達成状況

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	スクールバスの更新整備を進めたことにより、登下校時及び学校行事に支障を来すことなく、円滑な学校経営が推進されていると判断します。
有効あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	国からの補助金の交付を受けており、コストに見合った効果が得られていると判断します。
効率的あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

判断の理由

公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	登下校のみならず、学校行事においてもスクールバスを利用することから公平性は保たれていると判断します。
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D:事業効果が得られていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

今後の展開方向(Action)

終了

スクールバスの更新整備により、児童生徒の安全が確保されており、計画どおり事業が進んでおります。

スクールバス全車両の更新が完了しました。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

事業名	教職員住宅環境整備事業	評価者	菅理職 藤氏名 評価者 作成者 藤氏名	中村 文隆 川口 敦史
-----	-------------	-----	------------------------	----------------

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	教職員	工事件数	目標年度	実績年度	目標値	実績値	達成率
抱える課題やニーズ	教職員住宅の老朽化に伴い部分改修や住環境の整備が必要である。	①	令和3年度	令和3年度	7件	7件	100.0%
どのような状態になることを目指したのか(意図)	老朽化住宅の整備を推進するほか、住環境の整備し、	②					
その結果、どのような成果を表現したか ※成果=目的	良好な住環境の整備を推進する。						
内容(どのような手段で何をを行ったか)	住宅配管改修工事 住宅支障木伐採						

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や原価による対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
必要あり	<input type="checkbox"/>

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効あり	<input type="checkbox"/>

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的あり	<input type="checkbox"/>

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平でない	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)

指標(指標計算式/解説)

工事業実施件数/計画件数

①

②

給水管の交換、ガス給湯から灯油ボイラーへ交換及び浴槽の交換を、入居者に一時的な退去をさせず、かつ、短期間にて実施した。

住宅の屋根にかかり、樹液による被害を生じさせている立木を除去した

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D:事業効果が衰えている。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	未改修住宅においても同様の改修を必要とするため、事業継続する必要があります。
---------	--

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は補充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010210

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と視点づくり～		会計区分 1 一般会計		[全体計画内容] ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載			
基本施策 11 学校教育の充実	2 小中学校の教育環境の充実	事業優先度	A	令和3年度 事業内容	令和4年度 事業内容		
事業名 へさ地小学校巡回事務職員配置事業		政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	事務職員の配置 事務職員の配置 事務職員の配置 事務職員の配置 事務職員の配置 事務職員の配置 事務職員の配置 事務職員の配置 事務職員の配置 事務職員の配置			
事業期間 平成30年度～令和4年度		見直し年度	担				
事業主体 雄武町		関係	#N/A				
事業指標 事務職員配置人数		ハート/ソフト事業区分	2 ソフト事業				
事業目標 1人		関係例規・法令名	無				
町民協働 無		関係個別計画名	無				
全体計画内容		令和元年度 事業内容	令和2年度 事業内容			令和3年度 事業内容	令和4年度 事業内容
へさ地小学校への事務職員の配置		平成30年度 事業内容	事務職員の配置			事務職員の配置	事務職員の配置
事業費(千円)		15,982	3,000			3,000	3,391
財源内訳		0	0			0	0
国庫支出金		0	0	0	0		
道支支出金		0	0	0	0		
地方債		0	0	0	0		
その他		30	10	10	10		
一般財源		15,952	2,990	2,990	3,391		
事業費(千円)		8,243	2,431	2,642	1,967		
国庫支出金		0	0	0	0		
道支支出金		0	0	0	0		
地方債		0	0	0	0		
その他		21	7	6	6		
一般財源		8,222	2,424	2,636	1,961		
特定財源の名称							
雇用保険納付金		(実施内容等)					
[評価・実績]		巡回事務職員1人の配置 (豊丘小学校)	巡回事務職員1人の配置 (共栄小学校)	巡回事務職員1人の配置 (共栄小学校)	巡回事務職員1人の配置 (共栄小学校)		
※事務事業評価結果		※事務事業評価結果					
B-継続/内容の見直し・変更		A-継続/現状維持					
1名		1名					
40%		88%					
8%		39%					
年度目標値		※事務事業評価結果					
年度達成率		A-継続/現状維持					
全体達成率		1名					
備考		81%					
(継続有り)		23%					
第5期計画からの継続 (継続有り)		※事務事業評価結果					
後期計画への継続 (継続有り)		A-継続/現状維持					
1名		1名					
55%		※事務事業評価結果					
52%		A-継続/現状維持					
0%		1名					
52%		※事務事業評価結果					

事業名	へき地小学校巡回事務職員配置事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敦史
		教育振興課長	
		総務総務係長	

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	へき地小学校	事務職員未配置校に対する配置
抱える課題やニーズ	児童数の減少のため教職員の定数減により、小規模校への事務職員が未配置となる。	目標年度 令和3年度 1人
どのような状態になることを目指したのか(意図)	町費負担の事務職員を配置することにより、各教職員が職位に応じた業務を遂行でき る。	実績年度 1人
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果＝目的	適正な学校経営が図られる。	達成度 100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	各学校の状況把握 事務職員の配置決定	目標年度 実績年度 達成度
	小中学校教職員の配置基準により、町内小中学校の教職員配置を把握し、巡回事務職員配置の判断をしています。	
	事務職員が未配置となる共栄小学校に配置することができた。	

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や員直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	町費負担の事務職員を配置することにより、各教職員が職位に応じた業務の遂行を可能とする体制が整備されていると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げた工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	学校に配置するにあたりコストに見合った効果が得られたものと判断します。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	全小中学校に事務職員が配置されているため、公平性は確保されていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項(アンケート調査を受けた場合は、その旨記入)

--

■ 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の員直しが必要等
- D: 事業効果が見えていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	次年度においても、共栄小学校の事務職員が未配置となり、さらに児童数減により教頭も未配置となることから、町費負担での任用事務を進めることとします。
---------	--

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は補充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

No. 12010223

政策目標	3. 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～		
基本施策	11. 学校教育の充実		
単位施策	2. 小中学校の教育環境の充実		
事業名	豊丘小学校閉校事業		
事業期間	令和2年度		
事業主体	雄武町		
事業目標	閉校式の挙行枚数		
事業目標	1校		
町民参加	有		
町民協働			

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載	
会計区分	1 一般会計
事業優先度	A
政策事務分類	3 単独自治事務(その他)
見直し年度	
担当課	12 教育委員会教育振興課
関係係	#N/A
関係係	#N/A
ハート/ソフト事業区分	2 ソフト事業
関係例規・法令名	
関係個別計画名	

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
閉校式事業実施に係る協賛会への補助					事業協賛会への補助 1,000千円 閉校式開催諸経費 1,000千円			
事業費(千円)	2,000	0	0	0	2,000	0	0	
国庫支出金	0							
道支金	0							
地方債	0							
その他	0							
一般財源	2,000							
事業費(千円)	1,043	0	0	0	2,000	1,043	0	
国庫支出金	0							
道支金	0							
地方債	0							
その他	0							
一般財源	1,043							
特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 豊丘小学校閉校事業補助金 豊丘小学校閉校式典	(実施内容等)	(実施内容等)	
関連事項	【評価・実績】	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A一終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
第5期計画からの継続	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	1校	52%	#DIV/0!	
後期計画への継続	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!		52%	52%	
備考	年度目標値	年度達成率	年度達成率	年度達成率				

事業名	豊丘小学校閉校事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敦史
		教育振興課長	
		総務管理係長	

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)		豊丘小学校 児童・教員・元教員・卒業生・地域	
誰、何が(対象)	豊丘小学校 児童・教員・元教員・卒業生・地域	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	助成対象となる閉校数
抱える課題やニーズ	式典の開催や記念誌の作成など、豊丘小学校関係者の想いを形にする必要がある	指標(指標計算式/算式)	① 閉校数 ② 100.0 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	豊丘小学校関係者が閉校協議会を設立し、閉校式典の運営の基礎や準備を行うほか、記念誌の作成	目標年度	令和3年度
その結果、どのような成果を實現したか ※成果=目的	豊丘小学校関係者が満足することを旨とした。	目標年度	令和3年度
内容(どのような手段で何を行ったか)	豊丘小学校閉校事業補助金 閉校事業協議会へ補助金を交付することにより、地域の意向を閉校事業へ反映させるたほか、記念誌の作成をはじめとする閉校の準備を行った。	実績年度	令和3年度
		達成年度	令和3年度
		実績年度	令和3年度
		達成年度	令和3年度

■事務事業の評価(Check)
(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	卒業生や地域の思い入れがある学校の閉校に伴う式典は必要なものである。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	式典は滞りなく無事実施することができ、学校や協議会の思いが十分に詰まった記念誌が作成できた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断理由	式典実施にあたり、地域の協力を得て駐車場設置の除雪をするなどして事業費抑制を図り、コストに見合った効果が得られたものと判断します。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断理由	全町民に閉校式典への案内をしていることから、公平性は確保されていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない、事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
閉校式典の実施目標は達成された。					
今後の展開方向(Action)					

終了	目標が達成されたことから、本事業は終了とします。
----	--------------------------

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査書

No. 12010224

政策目標	3 〔達成感から学ぶ教育のまち・雄武〕～教育・文化の振興と拠点づくり～	会計区分	1 一般会計
基本施策	11 学校教育の充実	事業優先度	A
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)
事業名	雄武町文教地区基本構想策定事業	見直し年度	
事業期間	令和3年度～令和4年度	担当	12 教育委員会教育振興課
事業主体	雄武町	関係	#N/A
事業指標	内部会議開催	ハート/ソフト事業区分	#N/A
事業目標	調査研究	関係別強・法令名	
町民参加	無	関係個別計画名	有 雄武町教育施設長寿命化計画
町民協働	無		

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載
 後期実施計画での予定内容
 ・住民アンケートの実施
 ・教育施設の現状調査の実施
 ・先進地調査の実施
 ・住民ワークショップの実施

計画内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
雄武町文教地区基本構想の策定										
事業費(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	道支	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0	
実績事業費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	道支	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定財源の名称	(実施内容等)									
関連事項	【評価・実績】									
	※事務事業評価結果									
	※事務事業評価結果									
	※事務事業評価結果									
	※事務事業評価結果									
第5期計画からの継続	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
後期計画への継続	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	備考									

※事務事業評価結果
 C-総括/内容の見直し・変更
 会議開催
 内部会議開催

事業名	雄武町文教地区基本構想策定事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	総務管理係長	川口 敦史

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町、教育委員会など
抱える課題やニーズ	雄武小中学校の老朽化による建替の時期を向かえていることから、雄武町文教地区基本構想策定の策定に向け、将来的な学校の在り方を整理する必要がある。
どのような状態になることを目指したのか(意図)	関係機関が各々の見地から意見を出し合える状態を目指した。
その結果、どのような成果を實現したいか ※成果＝目的	各関係機関との協議を交わしまとめることにより、雄武町文教地区基本構想策定のための教育委員会の基本方針の策定したい。
内容(どのような手段で何を行ったか)	

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)

①	指標(指標計算式/解説)	会議数	内部会議等の開催
	目標年度	実績年度	実績値
		令和3年度	3回
		令和4年度	0回
②	達成率	0.0%	
	目標年度	実績年度	実績値
		令和3年度	
		令和4年度	

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断理由
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断理由
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	事業費は生じていないことから、公平性は確保されていると判断します。
	<input type="checkbox"/>	受益負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C		
コロナ禍のため、各関係機関において先進地視察が出来なかつたことから、協議する会議の開催には至らなかつた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/内容の見直し・変更	
教育委員会の基本方針を策定し関係機関へ発信するなどして、意見を交わすための関係機関の雄武町文教地区基本構想策定に必要な情報の足掛かりや資料を提供する。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又はは統合又はは内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

No. 12010225

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 2 小中学校の教育環境の充実	事業名 雄武町教育情報セキュリティポリシー策定事業 事業期間 令和3年度 事業主体 雄武町 事業目標 雄武町教育情報セキュリティポリシーの策定 雄武町教育情報セキュリティポリシーの策定 町民参加 無 町民協働 無	会計区分 1 一般会計 事業優先度 A 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 員直し年度 12 教育委員会教育振興課 担当 係 課 #N/A 関係 #N/A ハート/ソフト事業区分 2 ソフト事業 関係例規・法令名 関係個別計画名	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載
--	--	---	----------------------------------

計画内容	令和3年度		令和2年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
雄武町教育情報セキュリティポリシーの策定	0	0	0	2,200	0	0
事業費(千円)	2,200	0	0	2,200	0	0
財源内訳	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,200	0	0	2,200	0	0
事業費(千円)	2,200	0	0	2,200	0	0
財源内訳	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,200	0	0	2,200	0	0
特定財源の名称						
【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
関連事項	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
第5期計画からの継続	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
後期計画への継続	0%	0%	0%	100%	100%	100%
年度目標値						
年度達成率						
全体達成率						
備考						

事業名	雄武町教育情報セキュリティポリシー策定事業	評価者	管理職 職氏名	教育振興課長	中村 文隆
		評価者	作成者 職氏名	総務管理係長	川口 敦史

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	学校、教職員及び児童生徒	雄武町学校セキュリティポリシーの策定
抱える課題やニーズ	総務省並びに文科省においてセキュリティポリシーの見直しが行われたことにより、これらに即した新たな策定が必要である。	雄武町学校セキュリティポリシーの策定
どのような状態になることを目指したのか(意図)	雄武町学校セキュリティポリシーを策定	雄武町学校セキュリティポリシーの策定
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	雄武町学校セキュリティポリシーを策定	雄武町学校セキュリティポリシーの策定
内容(どのような手段で何を行ったか)	雄武町学校セキュリティポリシーを策定	雄武町学校セキュリティポリシーの策定

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)

①	策定件数	目標年度	実績年度	目標値	実績値	実績値
		令和3年度	令和3年度	1件	1件	1件
②						100.0 %

専門知識のある業者へ委託した。

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担当必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由	町総務部局と同一業者へ委託することにより、コスト低減が図られた。
効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/> その他

(4)事務事業の公平性

判断の理由	公平性は確保されていると判断します。
公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者が一部に偏る
	<input type="checkbox"/> その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない、事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない、事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D: 事業効果が表れていない、事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
雄武町学校セキュリティポリシーを策定できたことから目標は達成されたものです。					



終了	目標が達成されたことから、本事業は終了となります。
----	---------------------------

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

事業名	雄武高等学校存続対策事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敦史
		教育振興課課長	
		総務管理係長	

■事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	生徒・地域住民・雄武高等学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	雄武高等学校入学人数20人の確保
抱える課題やニーズ	北海道教育委員会が少子化を背景として策定した「新たな高校教育に関する指針」により、小規模校の存続が危惧されている。	① 指標(指標計算式/解説)	目標年度 令和3年度 目標値 20人 実績値 22人
どのような状態になることを目指したのか(意図)	地域及び関係機関との連携を図り、地域の学校として存続を図る。町外からの生徒数を確保することにより、入学人数減少の抑制を維持する。	②	達成年度 年度 目標値 110.0 % 実績値
その結果、どのような成果を現実化したいか ※成果=目的	雄武高等学校への進学を希望している中学卒業生の進学を妨げないため、北海道が策定する「公立高等学校配置計画」において卒業停止とならないよう、雄武高等学校の存続を図る。		

内容(どのような手段で行ったか)	入学生徒に対する助成額 卒業生奨学金等 各種支援	入学生徒の保護者に対する制服購入代金の助成を行いました。 希望する卒業生に対し、就学貸付金の賞与と奨学金の給付を行いました。 町外生徒に対するバスの定期代及び下宿費の補助、各部活動における遠征宿泊の一部補助及び備品購入等に係る補助、資格取得受給費用の助成、見学旅行に係る支援を実施しています。
------------------	--------------------------------	--

■事業の評価(Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>

(3) 事業の効率性(コストに合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

雄武高等学校への入学者の確保は地域における雄武高校の存続対策として必要不可欠であります。各種支援事業の展開により有効性が保たれているものと判断します。

雄武高等学校への入学者の確保は地域における雄武高校の存続対策として必要不可欠であります。各種支援事業の展開により有効性が保たれているものと判断します。

町外生徒については、補助の有無を入学の際の判断材料としているものと見做されることから、コストに合った効果が得られていると判断します。また、在学している生徒に対する雄武高等学校で取りまとめを行っていることから、保護者の負担軽減に繋がっています。

生徒数の維持を図らなければ、高校存続に大きく影響することから、公平性の観点からは問題がないと判断します。

■総合評価【A~D】
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休止の検討が必要等

自己評価(一次評価) 評価会議評価(二次評価) 町長評価(三次評価)

A
各種支援策の拡充により、入学人数確保に繋がったことから、一定の成果があったと判断できるため、今後も継続して事業を実施していく必要があります。

今後の展開方向(Action)
継続/現状維持

引き継ぎ、学校等と連携しながら、PR活動等を展開し、生徒確保を図ることとします。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又はは縮小又はは統合又はは内容の見直し、変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町 総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査 様式1

No. 03030080

政策目標	5 【連帯感を高める協働のまち・雄武】～協働によるまちづくりの推進～
基本施策	22 効果的・効率的な行政経営
単位施策	1 計画行政の推進
事業名	車両運行業務民間委託事業
事業期間	平成30年度～令和4年度
事業主体	雄武町
事業指標	スクールバス等の管理運行業務
事業目標	委託車両8台の管理運行
町民参加	無
町民協働	無

計画内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
スクールバス等8台の運行管理業務の民間委託	33,780	33,780	33,080	36,692	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	
事業費(千円)	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
道支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	177,552	
事業費(千円)	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
道支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	135,480	
特定財源の名称										
関連事項	<p>【評価・実績】</p> <p>※事務事業評価結果 A-継続/現状維持</p> <p>委託車両8台の管理運行 99%</p> <p>※事務事業評価結果 A-継続/現状維持</p> <p>委託車両8台の管理運行 104%</p> <p>※事務事業評価結果 A-継続/現状維持</p> <p>委託車両8台の管理運行 97%</p> <p>※事務事業評価結果 A-継続/現状維持</p> <p>委託車両8台の管理運行 92%</p> <p>※事務事業評価結果 A-継続/現状維持</p> <p>委託車両8台の管理運行 76%</p>									

事業名	車両運行業務民間委託事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敏史
		事務管理課長	
		総務管理係長	

■ 事業の目的・内容 (Plan・Do)		業務車両委託台数	
誰、何が(対象)	町内児童、生徒、一般市民	目標年度	令和3年度
抱える課題やニーズ	円滑な運行及び輸送業務の確保	目標値	8台
どのような状態になることを目指したのか(意図)	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行	実績値	8台
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行	達成度	100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	業務委託 スクーラーバス4台、給食配送車2台、福祉バス及び生涯学習バスの計8台の車両運行業務の一括民間委託	目標年度	令和3年度
		目標値	
		実績値	
		達成度	

■ 総合評価 [A~D]

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要 等

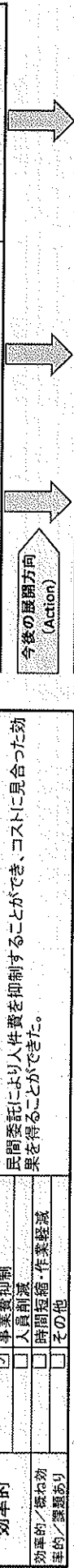
自己評価(一次評価)	評価者評価(二次評価)	所長評価(三次評価)
A		

業務の民間委託により、乗
車かつ円滑な運行と経費節
減が図られた。

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持

車両運行・輸送業務の円滑
化と効果的な成果を得るた
めにも、今後も計画どおり事
業を継続する必要がある。



※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又はは縮小又はは統合又はは内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

■ 事業の評価 (Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	業務的のもの	円滑な運行及び輸送業務を実施するため、民間委託により業務を行う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	民間委託を行うことにより、柔軟かつ円滑な運行業務等を行うことができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	民間委託により人件費を抑制することができ、コストに見合った効果を得ることができた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮/作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	雄武町民全般に寄与する業務であり、公平である。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010010

3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～
 11 小学校教育の充実
 1 小中学校の教育内容の充実

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～
基本施策	11 小学校教育の充実
単位施策	1 小中学校の教育内容の充実
事業名	言語治療児童援助事業
事業期間	平成30年度～令和4年度
事業主体	雄武町
事業指標	ことばの発達障害と診断された児童の早期治療による解消
事業目標	障害者数 0人
町民参加	無
町民協働	無

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
新入学児童におけることばの発達障害の早期治療に係る治療の確保と通級費の負担軽減 通級に係る交通費の助成 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	
	260	260	260	260	260	260	260	
事業費(千円)	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	
財源	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	
事業費(千円)	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	
財源	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	
特定財源の名称	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	
関連事項	(評価・実績)	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 4人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 4人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 3人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 6人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 6人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 6人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	第5期計画からの継続 (継続有り)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
後期計画への継続 (継続有り)	81%	72%	68%	92%	92%	92%	92%	
	16%	31%	4%	63%	63%	63%	63%	

事業名	言語治療児童援助事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 洋祐
		教育振興課長	
		学校教育係長	

事業の目的・内容 (Plan・Do)	児童・保護者等	通級を要する児童の把握及び交通費の助成人数
誰、何が(対象)	児童・保護者等	目標年度 令和3年度
捉える課題やニーズ	ことばの発達障がい等は、早期治療が有効であるため、治療を要する児童、保護者に対して広域で個別に設置している言語治療学級への通級を促進し、通級に要する経済負担の支援を行うとともに、言語治療学級を運営するための負担も行う必要がある。	実績年度 100%
どのような状態になることを目指したのか(意図)	ことばの発達障がいをもつ児童の早期治療及び言語治療学級の運営の維持を図る。	達成度 100%
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果＝目的	正しい発音、表現力、理解力を高め、児童の健全な育成に繋がる。	令和3年度 目標年度 100% 実績年度 100% 達成度 100.0%
内容(どのような手段で何を 行ったか)	通級に要する交通費の助成 西紋別地区言語治療学級の運営費の負担	令和3年度 目標年度 6人 実績年度 6人 達成度 100.0%

■事務事業の評価(Check)
(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>
理由	義務的なもの 全部 一部

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効/課題あり	<input type="checkbox"/>
理由	言語治療学級の設置を維持することができ、ことばの発達障がいをもつ児童の早期発見、治療を行うことができていると判断します。

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)	
効率的	<input checked="" type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>
理由	言語治療については、西紋5市町村の広域実施により、効率的な事業実施が行われていると判断します。

(4)事務事業の公平性	
公平	<input checked="" type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平/不公平	<input type="checkbox"/>
理由	言葉の発達障がいをもつ児童、保護者に対し、言語治療の機会が等しく確保されているので、公平性が保たれていると判断します。

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価(A~D)
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
今後の展開方向(Action)	ことばの発達障がいをもつ児童の保護者に対する経済支援を行うとともに、早期発見、治療等により、児童の学校生活の充実に向けて、計画どおり事業が進んでいます。				

継続/現状維持	障がいの程度は児童により異なることから、専門職員のいる言語治療学級を維持するための支援、通級児童の保護者に対する経済支援等、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。
---------	--

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止